

がん対策推進計画を推進するための都道府県の取組の進捗状況に関する評価結果（愛媛県）

全体目標	計画策定時（平成19年度）	現状（平成24年度）	目標（平成29年度）
がんの年齢調整死亡率（75歳未満）※人口10万対			
男性	119（平成17年）	116.7（平成22年）	95.2（平成27年）
女性	65（平成17年）	59.5（平成22年）	52.0（平成27年）

1. がん医療の均てん化

主な目標	計画策定時（平成19年度）	現状（平成24年度）	目標（平成24年度）
①がんに関する相談支援及び情報提供 すべてのがん診療連携拠点病院の相談支援センターにおける、がん対策情報センターによる研修修了者の配置 がん診療連携拠点病院におけるがん患者団体との連携協力体制の整備	7病院中2病院	7病院中7病院	全拠点病院で配置
②緩和ケア及び在宅医療の推進 がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームにおいて身体及び精神の緩和に携わる医師の配置 すべてのがん医療に携わる医師の緩和ケアの基本的知識の習得（緩和ケア研修会受講者） がん患者の意向を踏まえ、住み慣れた家庭や地域での療養を選択できる患者数の増加 在宅療養支援診療所数の増加	7病院中4病院 0人 がん患者の在宅での死亡割合7.1%（平成17年） 161か所	7病院中7病院 557人 （平成24年7月現在） がん患者の在宅での死亡割合9.7%（平成22年） 210か所 （平成24年7月現在）	全拠点病院で配置 がんに携わるすべての医師 増加 増加

主な目標	計画策定時 (平成19年度)	現状 (平成24年度)	目標 (平成24年度)
③医療機関の機能強化と医療連携体制の整備			
すべてのがん診療連携拠点病院において放射線療法及び化学療法を実施する体制の整備	7病院中6病院	7病院中7病院	全拠点病院で整備
県がん診療連携拠点病院及び特定機能病院における放射線療法及び化学療法専門分野の設置	2病院中2病院	2病院中2病院	該当拠点病院で設置
5大がんに関する地域連携クリティカルパスの整備	7病院中0病院	7病院中7病院	全拠点病院で整備
④医療従事者の育成			
放射線療法、化学療法、緩和ケア等の各分野において、学会等の資格を持つ医療従事者の増加(※)	54名	223名 (平成24年7月現在)	増加
⑤がん登録の精度向上			
すべてのがん診療連携拠点病院において、がん登録の実務を担う者が必要な研修を受講	7病院中6病院	7病院中7病院	全拠点病院で設置
地域がん登録の推進によるDCO率の低下	58.4% (平成14年)	24.0% (平成19年診断)	20%以下

(※)日本放射線腫瘍学会認定医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、がん治療認定医、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、日本医療薬学会がん専門薬剤師、日本放射線治療専門放射線技師の資格を持つ医療従事者の合計数

2. がんの予防

主な目標		計画策定時 (平成19年度)	現状 (平成24年度)	目標 (平成24年度)
①たばこ対策の推進				
未成年の喫煙率		男子13.2%、女子7.7% (中学生・平成15年)	男子4.6%、女子3.6% (中学生・平成21年)	0%
成人の喫煙率		男性37.7%、女性4.2% (平成16年)	男性32.5%、女性3.7% (平成22年)	男性20%以下 女性2%以下
完全分煙の公共施設の割合		市町の施設47.1%、 事業所64.8%、飲食店5.7% (平成16年、17年)	市町の施設93.3% (平成23年) 事業所85.6%、飲食店8.7% (平成22年)	100%
全市町での禁煙プログラムの提供		23市町中6市町 (平成17年)	20市町中4市町 (平成23年)	全(20)市町
喫煙の健康影響を認識している人の割合		胃潰瘍19.5%~肺がん93.8% (平成16年)	胃潰瘍22.1%~肺がん89.0% (平成22年)	100%
②栄養・食生活の改善				
野菜の摂取量(1日あたり)		成人284g 児童・生徒(6~14才)241g (平成16年)	成人281g 児童・生徒(7~14才)245g (平成22年)	成人350g以上 児童・生徒300g以上
果物の毎日摂取		成人男性70.7% 成人女性77.9% (平成16年)	未調査	成人男性75%以上 成人女性80%以上
脂肪エネルギー比率		成人29.1% 児童・生徒(6~14才)30.1% (平成16年)	成人24.1% 児童・生徒(7~14才)29.4% (平成22年)	成人25%以下 児童・生徒27%以下
バランスのとれた食事をしている人の割合		成人男性70.9% 成人女性74.0% (平成16年)	成人男性62.1% 成人女性66.5% (平成22年)	80%以上

3. がんの早期発見

主な目標		計画策定時 (平成19年度)	現状 (平成24年7月現在)	目標 (平成24年度)
①がん検診受診率の向上				
検診受診率 ・胃がん ・肺がん ・大腸がん ・子宮がん ・乳がん	(市町によるがん検診受診率) (平成17年度) 14.0% 19.6% 19.0% 16.7% 20.2%	(平成22年度) 9.4% 11.5% 12.9% 18.7% 2.6% (マンモグラフィのみを含めた受診率は、25.4%)	全てのがん検診において50%以上	
②要精検者の精検受診率の向上				
精密検査未受診率 (市町によるがん検診精検未受診率) ・胃がん ・肺がん ・大腸がん ・子宮がん ・乳がん	(平成17年度) 16.4% 12.8% 25.5% 17.7% 9.5%	(平成21年度) 13.4% 22.5% 19.4% 9.6% 4.8%	全てのがん検診において精密検査受診率100% (精密検査未受診率 0%)	
③がん検診精度管理体制の確立				
がん検診の精度管理、検診情報の分析評価、予防に関する検討を実施	県生活習慣病予防協議会で実施	県生活習慣病予防協議会で実施中	全市町で精度管理・事業評価、指針に基づくがん検診を実施	
検診従事者の資質向上を図るための講習会等を開催	県医師会に委託して開催	県医師会に委託して開催中	全ての検診従事者が受講	
④がん対策推進員の育成				
地域におけるがん対策の推進のため、がん対策推進員を育成	推進員0人	推進員7,127人 (平成23年度末現在)	推進員10,000人	